

日時 平成 27 年 10 月 19 日 (月) 18:00~20:00
 場所 かながわ県民センター 12 階 第 1 会議室
 出席者 北村委員 坂井委員 中門委員 西委員 前田委員 森本委員

概要

第 26 回県民フォーラムの開催結果及び第 27 回県民フォーラムの企画内容について検討・意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

議題 1 第 26 回県民フォーラム開催結果について

- 今回は企画内容の決定が遅く、告知のスケジュールが短かったのが反省点。ただ、神奈川新聞に事前・事後に掲載してもらえたのが良かった。また、タウンニュースを活用できたのも良かった。内容としては、ミニ講演のような現場からの話題提供があったのは良かったと思う。
- フォーラムに来る方は意識が高く、専門的な話を聞きに来ている方もいると思うので、発表者との対話の時間ももっとあるとより良かった。
- 今回は告知期間が短かったため、次回は長くとりたい。参加者から個人的に聞いた話では、ワイルドライフレンジャーの講演が好評だった。
- チラシを流域協議会以外の団体にも告知した。水源税についてあまり知らない方にも来ていただいたが、参加して関心が高まったようだ。
- 会場の入り口に立っていたが、駅での案内のおかげで道に迷っている人はいなかった。コミュニケーションチームには、展示パネルの説明をする役割を与えると良い。今回、タウンニュースとチラシはお金がかかっているが、関係者を除いた一般の人の人数と広報費用をつき合わせて、集客コストがいくらかかっているのか教えてほしい。県の説明は、第 2 期から第 3 期へ移行するにあたって、何がかわるのかわかりにくかった。フォーラムの後に骨子案に関する意見を聞く窓口を設置して参加者の話を聞いた方が良かった。
- 会場の規模と来場者数のバランスが良かった。最後の質疑の時間は長々と続いてしまったので、司会で 3 分とか 5 分とか時間を区切れればよかった。

議題 2 第 27 回県民フォーラムについて

第 27 回県民フォーラム企画書の概要

日時 平成 28 年 1 月 16 日 (土) 13:30~16:00

場所 藤沢リラホール (JR・小田急線藤沢駅より徒歩 3 分)

テーマ おしえて・話して! かながわの森と水 in 藤沢

構成・主催者あいさつ (5 分)

・ミニ講演 (75 分)

休憩 (10 分)

・素案の説明・意見交換 (60 分)

※ミニ講演 講演者 (予定)
 東京工業大学 吉村 千洋 氏
 愛川町森林組合の方
 猟師・自然料理研究家 奥山 恭代 氏

- 主催者挨拶については、田中座長に是非お願いしたい。
- 企画はミニ講演が良いと思う。また 3 名くらいでお願いしたい。講師候補は、勢いのある森林組合が良い。水関係では吉村先生にお願いしたい。
- 若手のハンターに話してもらいたい。知り合いに奥山恭代さんという女性のハンターがいる。山梨と秦野で活動しているので、森林事情やハンター事情を話してもらおうと面白いかもしれない。
- タウンニュースを使うのであれば、人物風土記のページに誰かを載せて、一緒に告知すると広報効果が高いと思う。